



広島の地図が背景にあり、赤い紅葉のイラストが左右に配置されています。中央には「広島県の財政状況」という大きな文字が、その下に「平成26年10月」という文字が配置されています。

# 広島県の財政状況

平成26年10月



広島県 総務局 財政課

# 目次

■ アピールポイント .....	2	■ 平成26年度予算のポイント	
■ 広島県の概要		● 平成26年度 当初予算編成の基本的な考え方 .....	14
● 広島県の概要 .....	3	● 平成26年度 当初予算のポイント .....	15
● トピックス .....	4	● 平成26年度 一般会計当初予算 .....	16
■ 中国地方における中枢拠点性		■ 財政健全化の取組	
● 地域経済の状況 .....	5	● 新たな県政運営の確立に向けた取組 .....	17
● 広域的な交通ネットワーク .....	6	● 平成26年度 財政健全化の取組 .....	18
■ 広島県財政の現状		● 職員数の推移と給与水準 .....	19
● 歳入歳出の状況 .....	7	■ 資金管理体制 .....	20
● 主な一般財源の推移 .....	8	■ 広島県の市場公募債	
● 県債残高, 基金残高の推移 .....	9	● 平成26年度 市場公募債発行計画 .....	21
● 主な財政指標等の状況 .....	10	■ お問合せ先	
● 平成24年度 公営企業会計の決算状況 .....	11		
● 平成24年度 地方公社等の決算状況 .....	12		
● 平成24年度 公会計における財務書類 .....	13		



# アピールポイント



## 中国地方における中枢拠点性

- 人口は約286万人(全国12位)で,中国・四国地方最大の都市である広島市が県庁所在地
- 製造品出荷額等が中国・四国・九州地方で第1位(全国10位)
- 高速道路や新幹線,空港,港湾などの広域的な交通ネットワーク

## 財政健全化への取組

- 弾力的かつ持続可能な財政構造の確立を目指すため,中期財政健全化計画(平成23~27年度)を策定
- 実質的な県債残高(臨時財政対策債を除く)について,「平成27年度までに1,400億円程度縮減することを目指す」としており,1年前倒しで達成する見込み
- 平成25年度のプライマリー・バランス(元金ベース)は,325億円の黒字を達成(昨年度に続き4年連続の黒字)

## 資金管理体制

- 平成19年度に外部の金融専門家等が参画する広島県資金管理会議を設置
- 安全性及び流動性を確保した上で,運用収益の拡大や調達コストの削減を目指す



# 広島県の概要

## 位置

中国・四国地方の中央部に位置しており、温暖な気候と瀬戸内海・中国山地という豊かな自然に恵まれています。

## 人口

人口は約286万人(全国12位)で、中国・四国地方最大の都市である広島市が県庁所在地。

## 工業

製造品出荷額等が中国・四国・九州地方で第1位(全国11位)であり、地方圏有数の産業規模を有しています。

## 商業

卸売業販売額が中国地方全体の約6割を占めており(全国8位)、中国地方の中核機能を果たしています。

項目	広島県	都道府県順位	出所
人口	286万人	12位	総務省「国勢調査」(平成22年)
面積	8,480km <sup>2</sup>	10位	国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成25年)
名目GDP	11兆1,478億円	12位	内閣府「県民経済計算」(平成23年度)
製造品出荷額等	8兆3,428億円	10位	経済産業省「工業統計」(平成24年)
卸売業販売額	8兆7,534億円	8位	経済産業省「商業統計」(平成19年)
1人当たり県民所得	3,030万円	7位	内閣府「県民経済計算」(平成23年度)
国内銀行貸出残高	8兆0,458億円	11位	日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」(平成25年度末)

## 二つの世界遺産



日本国内外からの観光客が多く、国際的に高い知名度があります。

## 知事の経歴

### ■ 湯崎 英彦 (ゆざき ひでひこ)

平成 2年	通産省(現経済産業省)入省
平成12年 3月	株式会社アッカ・ネットワークスを設立 代表取締役副社長
平成21年 11月	広島県知事に就任

# トピックス



## 新観光キャンペーン「泣ける！広島県＼(T▽T)／」スタート ～泣けるは、感動の、一步先～



人が泣くのは、悲しい時だけではありません。

泣けるほど美しい景色、泣けるほどおいしい食事、泣けるほど優しい人情など、「泣ける」とは、感動の一步先。最大級の感動なのです。

広島県には、人の心を揺さぶる自然や食、文化、人情があります。

広島県を訪れ、思いっきり感動して、楽しんで、のんびりして、日頃溜まった疲れを癒し、心を潤し、発散してもらいたいという願いを含めたポジティブなメッセージです。

### 泣けるは、感動の、一步先。 泣ける！広島県＼(T▽T)／究極のガイドブック

数量限定で  
創刊!!

「泣ける！広島県」という新たなスローガンに基づき、「泣ける」＝心動かされる」というテーマに沿って、**広島県の究極のガイドブック「泣ける！広島県＼(T▽T)／」**を発行しました。

様々な「泣ける」広島旅へのストーリー、広島の楽しみ方を提案し、見る人を広島への旅へ誘うよう、クオリティの高い写真、記事、編集で広島県の魅力を紹介しています。

- 部数：初版5万部+増刷3.8万部
- 規格：A4判 126ページ
- 配布：美容室、カフェ、空港ラウンジ、コンビニ、バス車内等  
(首都圏・関西・九州中心)
- ガイドブックの編集企画(例示)

- ・巻頭特集\_\_広島泣き旅
- ・泣けるほどうまものがある\_\_泣きメシ
- ・これを目的に広島へ旅したくなる\_\_広島良品
- ・広島のことならオレに聞け\_\_広島泣ける委員会
- ・カーブ女子が薦める広島\_\_カーブ女子図鑑
- ・別冊 とはいえおいしい！広島県 等

★東京駅、大阪駅、福岡駅でのポスター貼りや、全国の都道府県立図書館へ本誌を寄贈しています。

★ご好評につき、緊急増刷を行いました。

### 泣ける！広島県＼(T▽T)／ 広島県究極のガイドブック VOL.1



泣けるは、  
感動の、  
一步先。

Take Free

©2014 広島県

### 特設ウェブサイト (<http://hiroshima-welcome.jp/>) による情報発信



特設ウェブサイトでは、

■感動号泣旅・失恋センチメンタル旅 など旅のコース提案

■泣きメシ、泣き史、泣クティビティ などスポット情報

を紹介している他、企業様とのタイアップ(乗っかり)企画など、今を時めく広島の情報発信を行っています。

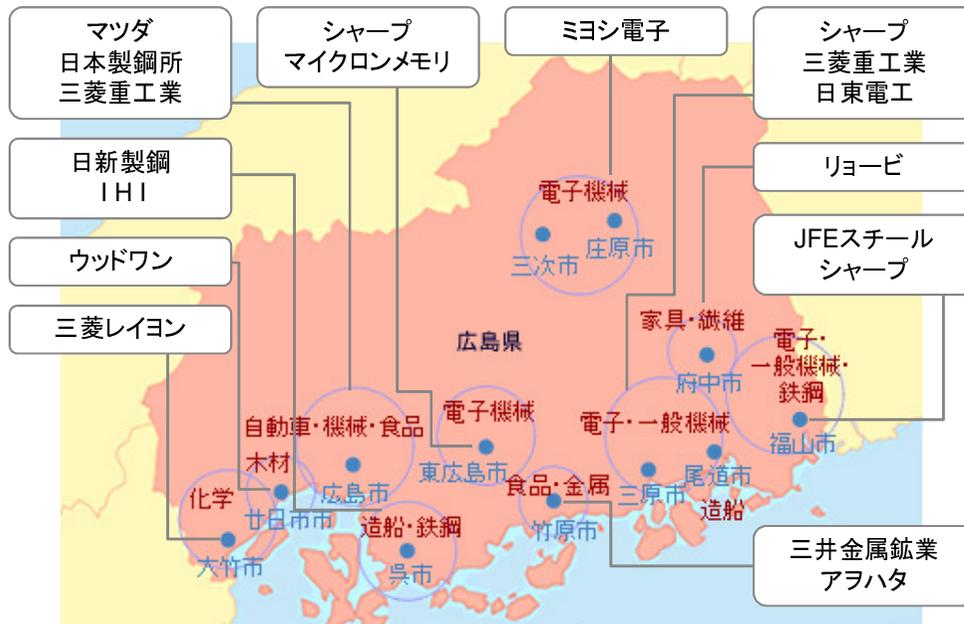
### その他PRツール (ポスター)



# 地域経済の状況

## 製造業を強みとした地域経済

- 中国・四国・九州地方で9年連続1位の製造品出荷額等  
自動車・鉄鋼がリードしているほか、電気機械が新たな産業として発展しています。
- バランスのとれた産業構造への転換  
電気機械や鉄鋼業の製造品出荷額が増加してきたことにより、バランス良い産業構造が構築されています。



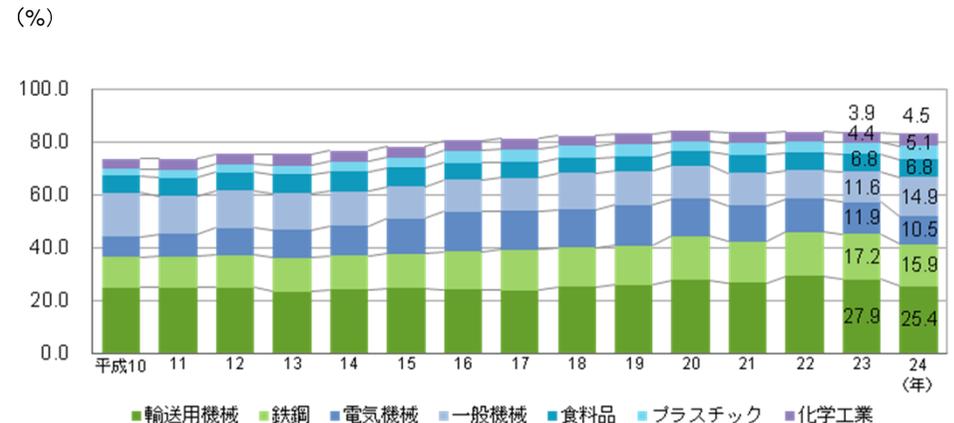
各地域がそれぞれの特性・強みを活かしながら、  
バランスのとれた産業構造を構築。

## 広島県の製造品出荷額等と全国シェアの推移



※経済産業省「工業統計表・産業編」

## 広島県の主要業種構成比(製造品出荷額等)の推移



※電気機械は、電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイスを含む  
 ※一般機械は、はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具を含む  
 ※経済産業省「工業統計表・産業編」

# 広域的な交通ネットワーク

## 中枢拠点機能を備えた交通ネットワーク

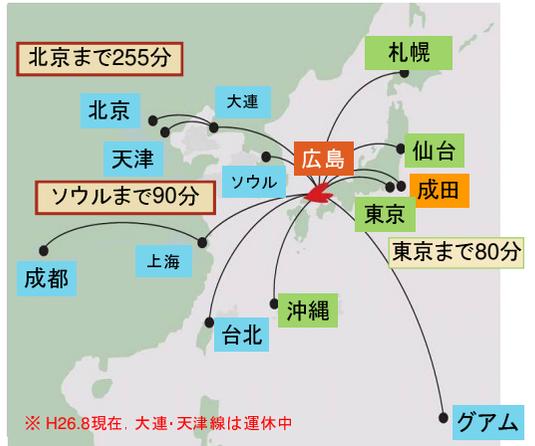
- 広島県は、中国地方の基幹県として、高速道路や新幹線、空港、港湾などの広域的な交通ネットワークの中枢拠点機能を備えています。

### 広島高速道路(都市高速道路)



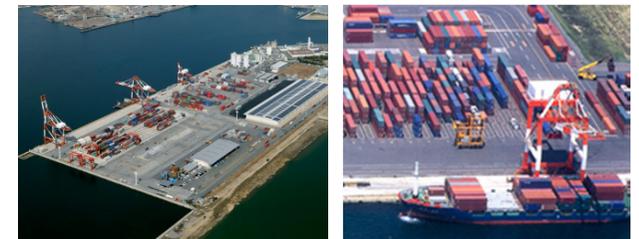
## 広島空港

- 国際運航便数(H26.8現在)
  - 週32便(6路線)
  - 全国8位(中国・四国地方で1位)
- 東京線利用者数(H25年)
  - 193万人
  - 全国7位(中国・四国地方で1位)



## 広島港・福山港

- 国際定期コンテナ航路(H26.8現在)
  - 広島港：外航航路...5航路  
中国・四国地方で最多
  - 福山港：外航航路...3航路
- 外貿コンテナ取扱量(H25年速報値)
  - 広島港：156,443 TEU  
全国12位(中国・四国地方で1位)
  - 福山港：70,636 TEU  
全国18位(中国・四国地方で3位)

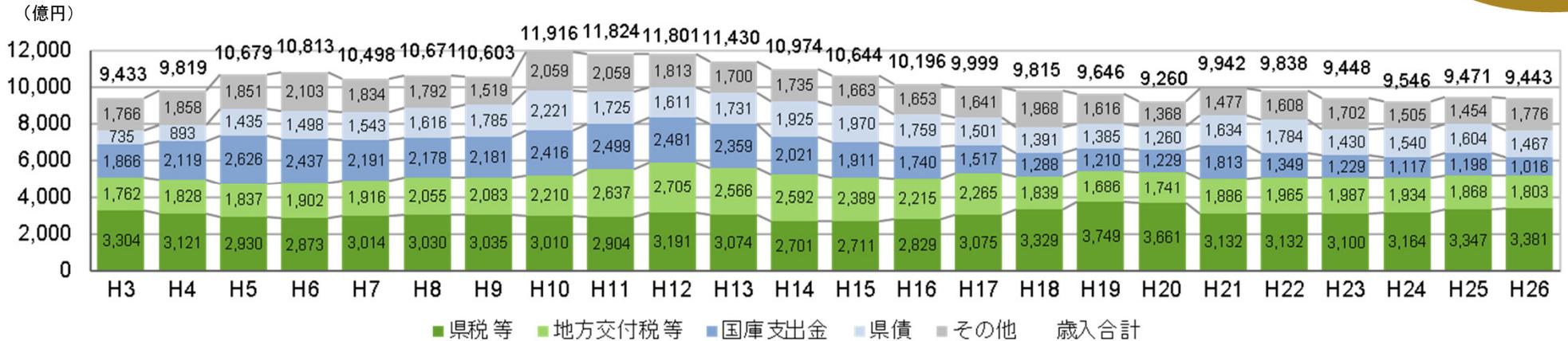


# 歳入歳出の状況

## 歳入

- 平成21年度以降、景気後退の影響などにより減少傾向にありましたが、企業業績の回復などにより、増加に転じています。
- 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の増加により、H21年度以降は県債発行額が増加傾向にあります。

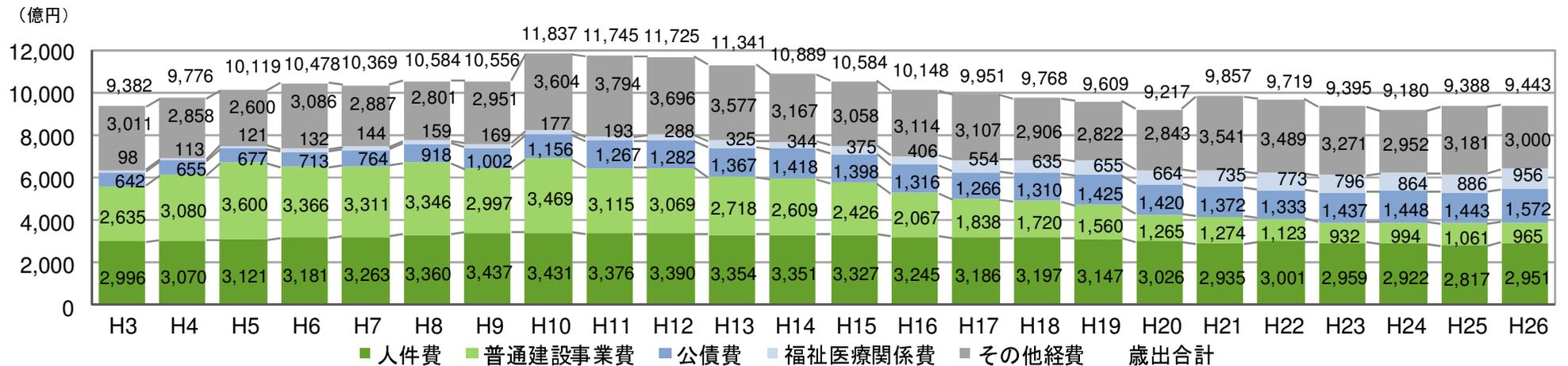
★実質収支は、  
昭和52年度以降、  
一貫して黒字



※1 県税等は、県税と地方法人特別譲与税の合算としている。  
 ※2 H25年度までは決算額。H26年度は当初予算額。

## 歳出

- 財政健全化の取組などにより、普通建設事業費及び人件費を中心に歳出規模が減少しています。

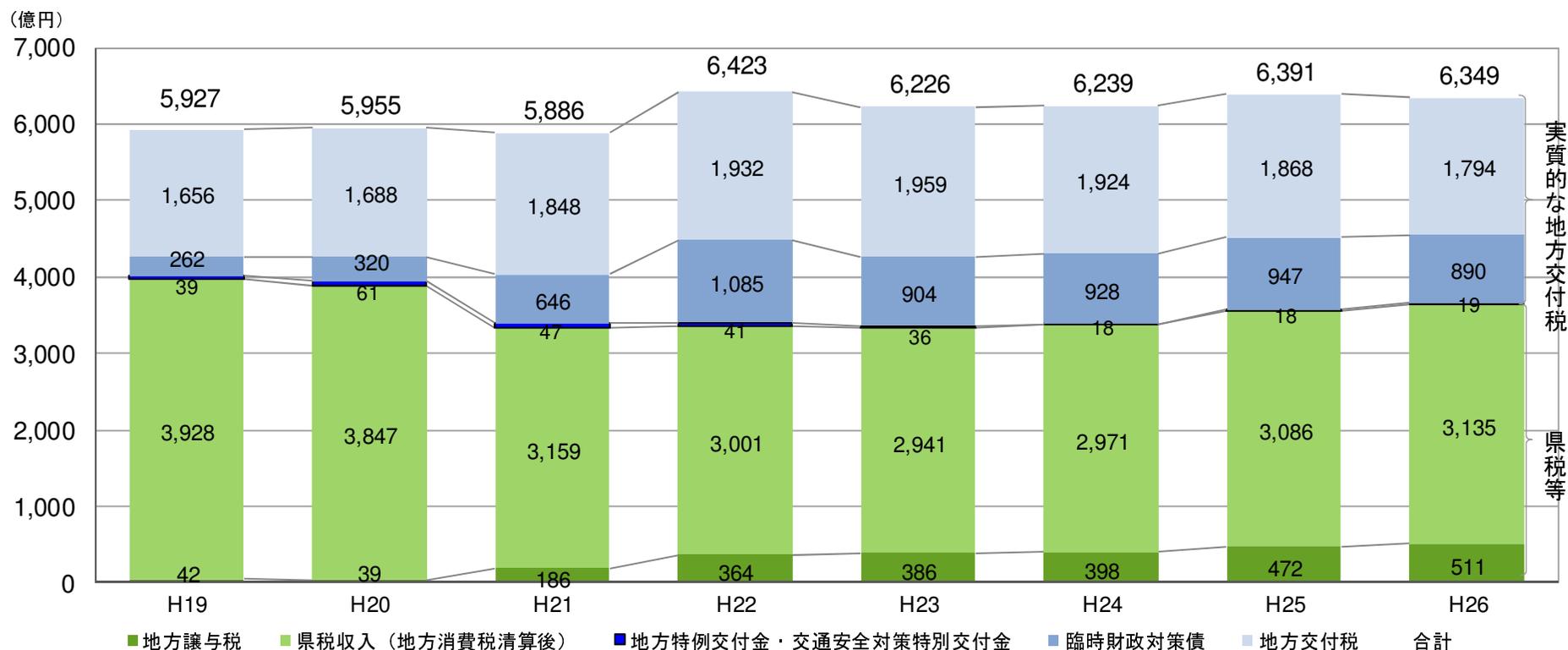


※ H25年度までは決算額。H26年度は当初予算額。

# 主な一般財源の推移



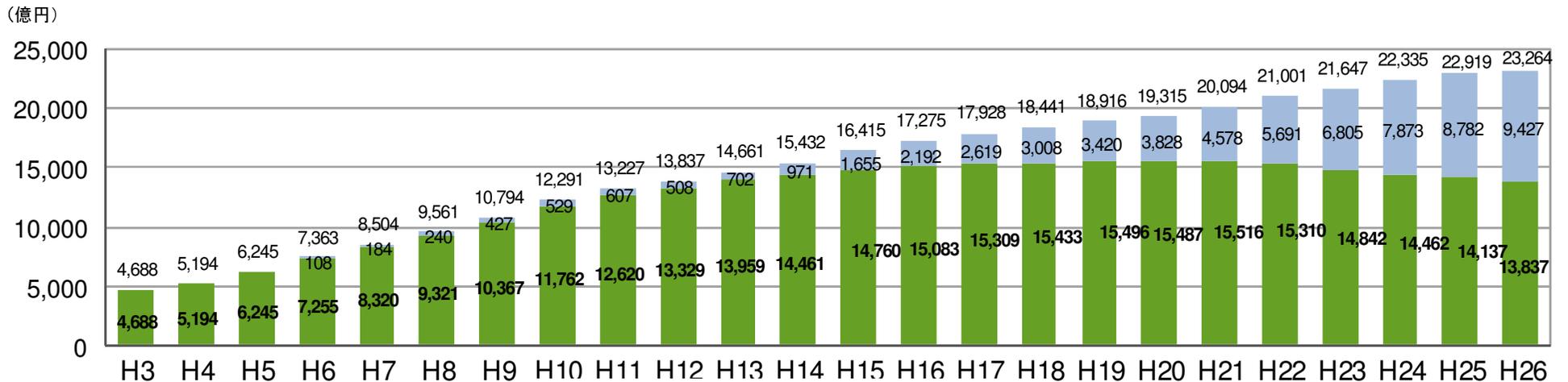
- 平成26年度の県税収入は、円安・株高などの影響で企業業績が回復したことや税率引上げなどにより地方消費税の増収が見込まれることから、増加する見込みです。
- 県税等と、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税を合わせた額は、概ね6,000億円程度の水準を確保しています。



※ H25年度までは決算額。H26年度は当初予算額。

# 県債残高, 基金残高の推移

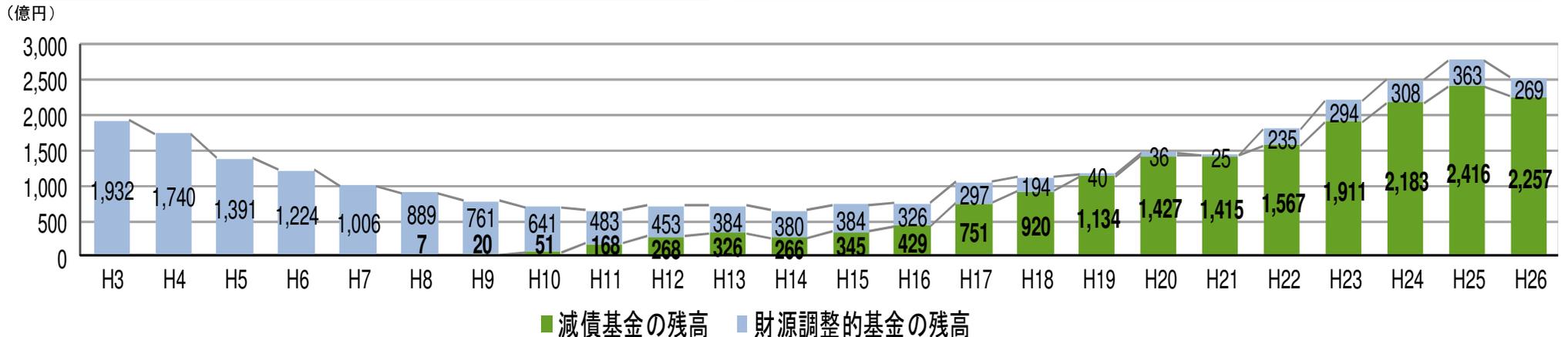
## 県債残高の推移



※1 数値はH25年度までは決算額, H26年度は当初予算額である。 ■ 臨時財政対策債等 県債残高(調整前)  
 ※2 実質的な県債残高とは、県債のうち、臨時財政対策債など全額交付税措置のある県債と、将来の満期一括償還に備えて一定のルールで減債基金に積立てた額を償還したものとみなして、その額を除いた県債残高です。今後、県の一般財源の持ち出しにより償還しなければならない県債残高を意味します。

## 財源調整的基金・減債基金残高の推移

● 市場公募債の満期一括償還に備えた減債基金積立を、確実に実施



※ 数値はH25年度までは決算額, H26年度は当初予算額である。



# 主な財政指標等の状況

## 主な財政指標

### 健全化判断比率

(単位:%)

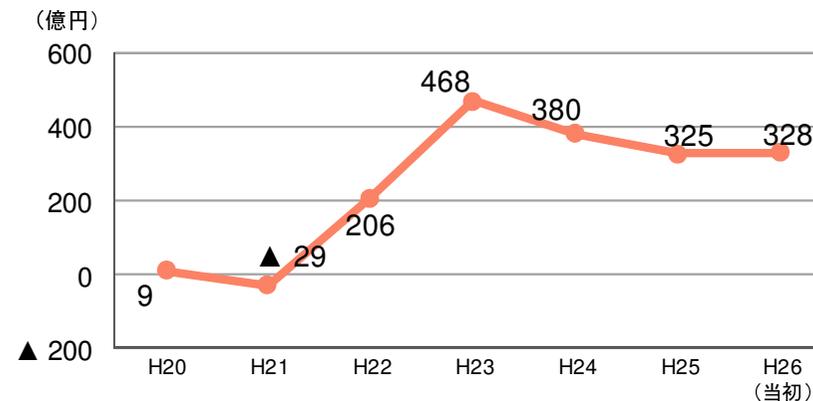
区分	平成23年度	平成24年度 A	平成25年度 B	増減 (B-A)	全国平均 (24年度)	国基準	
						早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	—	—	3.75	5.0
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	8.75	15.0
実質公債費比率	14.0	13.8	<b>13.9</b>	0.1	13.5	25.0	35.0
将来負担比率	260.4	255.1	<b>251.3</b>	<b>▲3.8</b>	200.7	400.0	—

※ 実質赤字額や連結実質赤字額がない場合は、「—」と表記している。

### その他の指標

区分	平成23年度	平成24年度 A	平成25年度 B	増減 (B-A)	全国平均 (24年度)
財政力指数	0.554	0.546	<b>0.556</b>	<b>0.010</b>	0.464
経常収支比率 (%)	90.9	91.7	<b>90.1</b>	<b>▲1.6</b>	93.0

## プライマリーバランスの推移



- 平成25年度は、24年度に続き、4年連続で黒字を達成
- 平成26年度以降も、引続き黒字確保に努める。

## 依頼格付け

依頼格付け会社	ムーディーズ・ジャパン株式会社
長期発行体格付け・自国通貨建	<b>Aa3</b> (アウトルック: <b>安定的</b> )
BCA(ベースライン信用力評価)	<b>5</b>

- 評価のポイント
- ① 財政健全化に向けた歳出削減への取組
  - ② 慎重な資金管理方針とその実績
  - ③ 中国地方経済の拠点としての位置づけ



# 平成25年度 公営企業会計の決算状況



- 病院事業は、25年度も経常利益を計上しています。(3年連続)
- 工業用水道事業及び水道用水供給事業については、いずれも安定した経営を行っています。
- 土地造成事業は、大規模分譲地の割引等により売却収益が売却原価を下回ったこと等から経常損失を計上しています。
- 全ての会計の資金収支は、黒字を確保しています。

(単位:百万円)

区 分		病 院	工業用水道	土地造成	水道用水供給	合 計
損益計算書	営業収益(A)	21,032	2,477	3,711	10,219	37,439
	営業費用(B)	21,091	2,093	4,685	7,513	35,382
	営業損益(C) = (A) - (B)	▲59	384	▲974	2,706	2,057
	営業外収益(D)	1,899	91	73	268	2,331
	営業外費用(E)	1,454	173	273	803	2,703
	経常損益(F) = (C) + (D) - (E)	386	302	▲1,174	2,171	1,685
	特別利益(G)	5	0	0	0	5
	特別損失(H)	28	256	0	650	934
	純損益(I) = (F) + (G) - (H)	363	46	▲1,174	1521	756
貸借対照表	資産の部	27,418	27,368	47,368	156,006	258,160
	うち固定資産	18,777	21,833	39,652	141,586	221,848
	うち流動資産	8,333	5,535	7,592	14,420	35,880
	負債の部	3,770	3,386	639	3,716	11,511
	固定負債	663	1,974	524	1,986	5,147
	流動負債	3,107	1,412	115	1,730	6,364
	資本の部	23,648	23,982	46,729	152,290	246,649
	資本金等	28,921	5,237	34,372	59,123	127,653
	企業債	20,782	8,984	32,431	31,616	93,813
	剰余金	▲26,055	9,761	▲20,074	61,551	25,183
資金収支(流動資産-流動負債-引当金)		3,900	3,140	6,953	10,815	24,808



# 平成24年度 地方公社等の決算状況



## 地方三公社の決算状況

- 地方三公社(4団体)は、安定した経営を行っています。
- 特に、土地開発公社は約195億円の剰余金を計上しており、全国でも有数の優良団体となっています。

(単位:百万円)

区 分		土地開発公社	道路公社	高速道路公社	住宅供給公社
損益計算書	収益	1,992	1,293	10,380	2,143
	費用	1,790	633	5,532	1,844
	経常利益	202	660	4,848	299
貸借対照表	資産総額	27,264	23,184	372,787	21,634
	負債総額	7,501	16,859	294,163	13,589
	資本総額	19,763	6,325	78,624	8,045
	うち剰余金	19,733	—	134	8,035
	うち県出資金	30	6,325	39,245	8
県の債務保証残高		43	2,634	87,194	0
県の損失補償残高		0	0	0	0

## 第三セクター等の経営状況 ※二分の一以上出資

- 単年度の正味財産増減額(当期純利益)がマイナスとなっている団体が9団体あるものの、いずれの団体も十分な資本又は正味財産を有しています。

(単位:百万円)

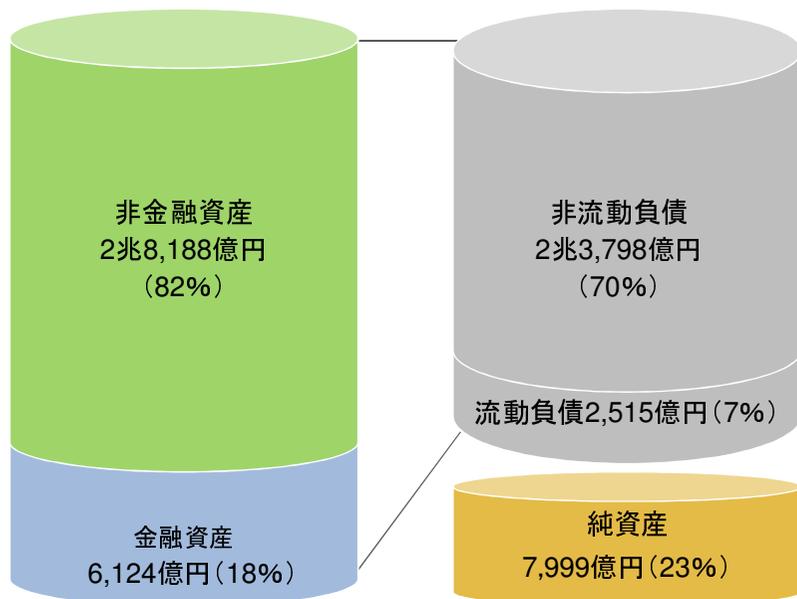
区 分	正味財産増減額 (当期純利益)	資本又は正味財産	県の債務保証又は損失補償
(財)ひろしま国際センター	29	1,197	0
(公財)ひろしま文化振興財団	4	556	0
(財)広島県環境保全公社	70	5,554	0
(財)ひろしまこども夢財団	▲2	76	0
(財)広島県地域保健医療推進機構	26	629	0
(公財)ひろしま産業振興機構	▲34	6,670	0
(株)ひろしまイノベーション推進機構	31	169	0
(社)広島県野菜価格安定資金協会	▲12	297	0
(財)広島県農林振興センター	▲1,932	50	0
(財)広島県下水道公社	4	89	0
(株)ひろしま港湾管理センター	41	1,142	0
(財)広島県教育事業団	▲54	360	0
(財)広島県スポーツ振興財団	▲0	1,068	0
(財)暴力追放広島県民会議	▲6	885	0

# 平成24年度 公会計における財務書類

## 連結財務書類

【連結対象】一般会計，特別会計，公営企業会計のほか，県が設立した独立行政法人，地方三公社，一定の関与がある第3セクター

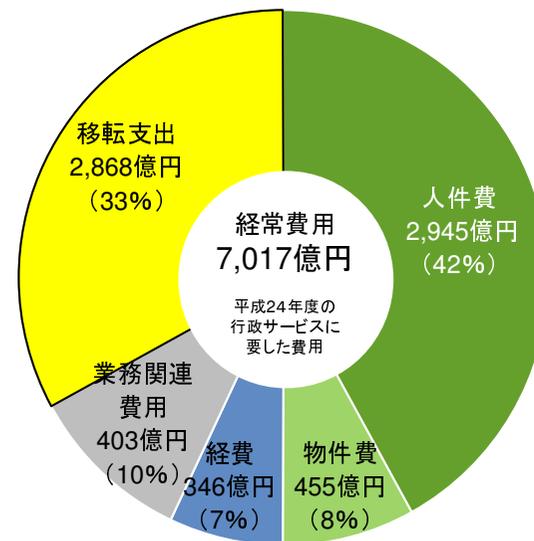
### 貸借対照表



(単位: 億円)

【資産の部】	34,312	【負債の部】	26,313
<b>1 金融資産</b>	<b>6,124</b>	<b>1 流動負債</b>	<b>2,515</b>
(1) 資金	6,124	(未払金, 賞与引当金など)	2,515
(歳計現金など)	197		7%
(2) 債権等		<b>2 非流動負債</b>	<b>23,798</b>
(未収金, 貸付金など)	1,296	(公債, 退職給付引当金など)	23,798
(3) 投資等			70%
(出資金, 基金など)	4,631		
	13%	<b>【純資産の部】</b>	<b>7,999</b>
<b>2 非金融資産</b>	<b>28,188</b>		<b>23%</b>
(1) 事業用資産	28,188		
(庁舎, 県立高校など)	9,376		
(2) インフラ資産			
(道路, ダムなど)	18,812		
	55%		
<b>資産合計</b>	<b>34,312</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,312</b>

### 行政コスト計算書



(単位: 億円)

【経常業務費用】	4,149	【移転支出】	2,868
<b>1 人件費</b>	<b>2,945</b>	<b>4 業務関連費用</b>	<b>403</b>
(1) 議員歳費, 職員給料等	2,406	(1) 公債費 (利払分)	331
(2) 退職給付費用, その他	538	(2) その他	72
	8%		1%
<b>2 物件費</b>	<b>455</b>	<b>【移転支出】</b>	<b>2,868</b>
(1) 消耗品費, 維持修繕費	305	(1) 他会計等への移転支出	137
(2) 減価償却費, その他	150	(2) 補助金等移転支出	2,466
	2%	(3) 社会保障関係費等移転支出等	231
<b>3 経費</b>	<b>346</b>	(4) その他移転支出	35
(1) 業務費, 委託費	277		1%
(2) 貸倒引当金繰入, その他	69		
	1%		
<b>経常費用合計</b>	<b>7,017</b>		
			※経常収益: 383

# 平成26年度 当初予算編成の基本的考え方

- 未来チャレンジビジョンにおける「目指す姿」の着実な実現に向けた取組を目指して、2つの政策の基本方向に基づき重点的に施策を推進するとともに、中期財政健全化計画に基づき、計画的かつ着実に**財政健全化に向けた取組**を進める。また、引き続き、**3つの視座**（「県民起点」「現場主義」「成果主義」）を踏まえた**経営資源マネジメント**による検証結果について、**施策や事業へ適切に反映**する。

## 平成26年度 当初予算案

### 政策の基本方向

#### イノベーションが生まれる 最適環境を創る

- ダイナミックな事業環境
- 多様な人材の集積
- 社会で活躍する人材を育てる学校教育
- ファミリー・フレンドリーな魅力創造

#### 広島の強みや基盤を活かす

- 広島の強みを活かす
- 生活基盤を強化する

広島県経済の  
持続的発展

魅力ある豊かな広島県

### 緊急経済・雇用対策の取組

～ 切れ目ない対策 ～

- 雇用対策
  - 離職者、新規学卒者の就業支援 など
- 地域経済活性化対策
  - 中小企業への支援、県内投資促進。県内製品・県産品の販路拡大 など
- 地域生活基盤の整備
  - 保育所や社会福祉施設等の地域生活を支える施設整備促進 など
- 暮らしの安心緊急確保対策
  - 地域医療体制の確保、児童虐待防止対策、高校生等の修学支援 など

行政刷新 — 行政面・財政面での「基盤づくり」—

計画的かつ着実な財政健全化に向けた取組

～ 財政健全化目標を達成し、弾力的かつ持続可能な財政構造を確立 ～

# 平成26年度 当初予算のポイント

## ポイントその1 4つの政策分野へ重点配分

4つの政策分野における主要事業

【重点分野】	新たな経済成長	28億90百万円
	人づくり	43億61百万円
	安心な暮らしづくり	21億89百万円
	豊かな地域づくり	17億 6百万円

## ポイントその2 予算規模〔一般会計ベース〕

一般会計予算 9,443億円 (前年度比:222億円 2.4%)

## ポイントその3 県債残高の縮減

- 実質的な県債残高※1
  - 県債発行額はいずれも縮減

県債残高 (H26末見込み)	1兆3,837億円 (前年度比:▲328億円 ▲2.3%)
県債発行額	1,467億円 (前年度比:▲17億円 ▲1.2%)

[ 県債依存度 ※2 15.5% ( H25:16.1%) ]

※1 臨時財政対策債などの全額交付税措置がある県債等を除いたもの

※2 歳入総額に占める県債の割合

## ポイントその4 重点施策の取組方向

### 重点分野

#### 新たな経済成長

- 創業の活発化・新事業展開の加速
  - ✓つながりによるネットワーク強化、多様な創業・事業化支援
  - ✓新たなビジネス・投資環境を支える大胆な環境整備
- 新たな成長産業の育成
  - ✓次代を支える医療関連・環境浄化クラスターの形成
  - ✓「広島ブランド」「瀬戸内ブランド」の国内外への浸透と観光産業の高度化
- アジア市場への参入・獲得
  - ✓アジアとの経済交流の拡大
  - ✓アジアとの交通・物流ネットワークの確立
- 自立に向けた農林水産業のイノベーション
  - ✓経営力の高い担い手の育成
  - ✓「売れるものを作る」生産体制の構築と戦略的な販売・流通の推進

#### 人づくり

- 新たな価値を創造する人材、海外市場の開拓に必要な人材の育成・集積
  - ✓新たな価値を創造する人材、グローバル化に対応し、活躍できる人材の育成
  - ✓県内企業のグローバル化に対応できる海外人材の積極的な確保
- 女性の働きやすさ日本一への挑戦
  - ✓結婚・出産、子育て、ポスト子育て期に応じた就業支援策
  - ✓キャリアを活かせる就業の受け皿の創出
- 若者の定着就業の徹底支援
  - ✓若年層の転出超過に歯止め
  - ✓就職等でのU・Iターン促進
- 社会で活躍する人材の教育
  - ✓安心して学べる教育環境の確保に向けた緊急対策
  - ✓小・中・高等学校段階での「知・徳・体」の育成を通じた社会人基礎の着実な定着
  - ✓グローバル化に対応でき、マネジメント力を身につけた人材の育成を含めた大学段階での教育内容の質的改革

重点分野の可能性を最大限に後押し

#### 安心な暮らしづくり

安心して暮らせる質の高い生活の基盤づくり

- 信頼される県内医療体制の構築
- 地域医療体制の確保

#### 豊かな地域づくり

内外から多彩な人材を多く惹きつける魅力の発揮

- 国内外から多様な人材が集まる魅力ある地域環境の創出

■ 再生可能エネルギーの導入促進

■ 防災対策の拡充・強化

■ 国際平和拠点ひろしまの形成

※ 各ポイントの詳細は、広島県のホームページに掲載している「平成26年度当初予算案の概要」を参照してください。



# 平成26年度 一般会計当初予算



## 一般会計予算の内訳

(単位:億円,%)

区 分		25年度 当初	26年度 当初	構成比	増減額	増減率	備 考
歳 入	県税,地方譲与税	3,155	3,413	36.1	258	8.2	法人二税の増 など
	地方交付税	1,818	1,793	19.0	▲25	▲1.4	普通交付税の減
	県債	1,484	1,467	15.5	▲17	▲1.1	
	臨時財政対策債	975	890	9.4	▲85	▲8.3	(実質的な地方交付税の振替)
	その他	2,764	2,770	29.3	6	0.2	「地域の元気臨時交付金」の減, 地方消費税清算金の増 など
	計	9,221	9,443	100.0	222	2.4	
歳 出	法的義務負担経費	2,502	2,647	28.0	145	5.8	
	うち 福祉医療関係費	927	956	10.1	29	3.1	後期高齢者医療財政助成事業の増 など
	経常的経費	4,431	4,523	47.9	92	2.1	
	人件費	2,968	2,951	31.3	▲17	▲0.6	
	うち 職員給与費等	2,648	2,640	28.0	▲8	▲0.3	人件費マネジメントによる減 など
	うち 退職手当	321	311	3.3	▲10	▲3.1	支給水準の引き下げによる減 など
	公債費	1,463	1,572	16.6	109	7.5	
	政策的経費	2,287	2,273	24.1	▲14	▲0.6	
	公共事業	793	748	7.9	▲45	▲5.7	
	うち 補助公共等	545	481	5.1	▲64	▲11.7	国の予算案を踏まえた減
	うち 単独公共	194	210	2.1	16	8.4	維持修繕費の増 など
	一般事業	1,494	1,525	15.8	31	2.1	
計	9,221	9,443	100.0	222	2.4		
うち 一般歳出	7,021	6,992	74.0	▲29	▲0.4	(諸支出金及び公債費を除く)	

※ 端数処理により,積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

# 新たな県政運営の確立に向けた取組

## 県政運営体系

### ひろしま未来チャレンジビジョン

〔概ね10年後の平成32(2020)年度を展望〕

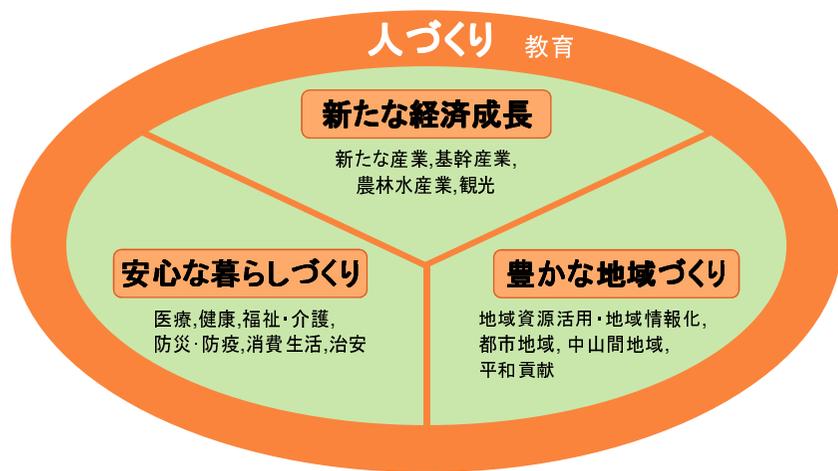
H22.10月策定

### 平成26年度「県政運営の基本方針」

〔重点化の基本方向,重点施策〕

H22年以降  
毎年12月頃策定

#### 【政策4分野の相関図】



H22.12月策定

### 行政経営刷新計画

〔H23～27(5年間)〕

- 戦略的な行政運営
- 組織体制の最適化
- 人材マネジメント

### 中期財政健全化計画

〔H23～27(5年間)〕

- 財政健全化目標
- 財政健全化策
- 財政マネジメント

## 中期財政健全化計画の概要

計画の目的	弾力的かつ持続可能な財政構造の確立に向けて、計画的かつ着実に、財政健全化策に取り組むことにより、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の4つの挑戦を着実に実施していく上での財政面での「基盤づくり」を推進
財政健全化目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経常収支比率を90%程度の水準に可能な限り近づける〔フロー指標〕</li> <li>■ 将来負担比率を288%未満に抑制する〔ストック指標〕</li> <li>■ 「実質的な県債残高」を5年間で1,400億円程度を縮減する</li> </ul>
財政健全化策	<p>① 経常的経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人件費マネジメント(職員数見直し,給与構造改革等)</li> <li>● 公債費の抑制(可能な限り,新たな県債発行の抑制)</li> </ul> <p>② 特別の財源対策(歳入対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 財産の売払い</li> <li>● 収入未済額の縮減(県税の滞納処分や徴収強化)</li> <li>● 基金の活用(財源調整的基金など)</li> </ul> <p>③ 政策的経費の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務事業の見直し〔H22⇒H27〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般事業 ▲10.0% [一財ベース]</li> </ul> </li> <li>● 普通建設事業等の見直し〔H22⇒H27〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 補助公共・単独公共(建設) ▲20.0% [一財ベース]</li> <li>● 国直轄事業負担金 ▲10.0% [一財ベース]</li> <li>● 単独公共(維持) 現状維持 [一財ベース]</li> </ul> </li> <li>● その他の投資的経費 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校耐震化対策を除く ▲20.0% [一財ベース]</li> <li>● 学校耐震化対策 現状維持 [一財ベース]</li> </ul> </li> </ul>
新たなマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「マネジメント・アカウンティング」の導入と予算編成への活用</li> <li>■ 資産マネジメントの推進</li> </ul>



# 平成26年度 財政健全化の取組



## 中期財政健全化計画の取組状況

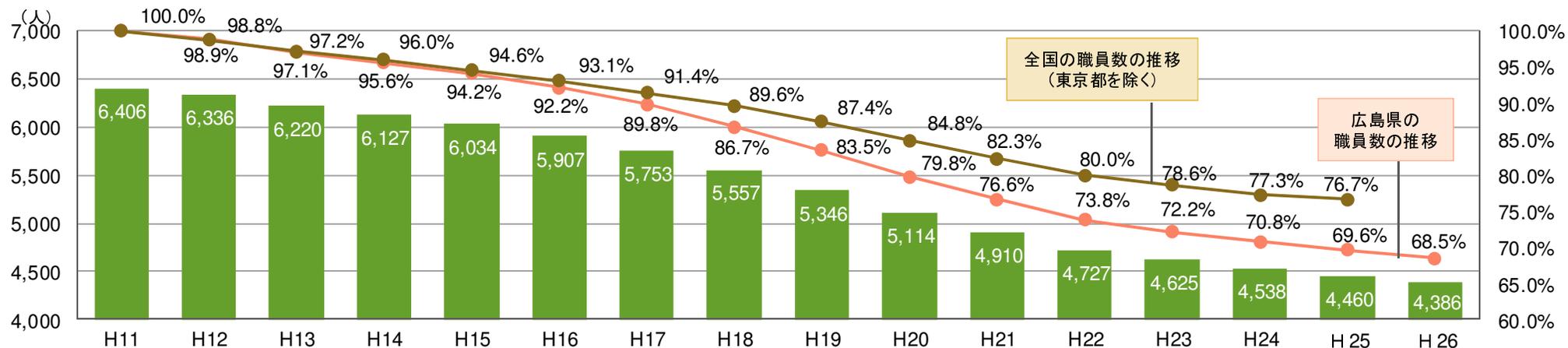
- 中期財政健全化計画に掲げる財政健全化策を引き続き、計画的に取り組み、平成26年度当初予算を編成

(単位:億円※)

	平成26年度 対策額	取組内容等
○ 歳出	▲47	
人件費マネジメント	▲7	①職員数の見直し（一般行政部門▲80人） ②給与構造改革等（給与構造改革による給料の減額確定に伴う共済費等の減）
公債費の抑制	▲1	県債発行額の抑制による公債費の縮減
事務事業の見直し	▲22	経営資源マネジメントにより全ての事業について抜本的に見直し
普通建設事業等の見直し	▲17	公共事業等の計画的縮減
○ 歳入	104	
1 財産の売払い	10	利用計画がない土地等の売却処分
2 収入未済額の縮減	6	県税の滞納処分等の徴収強化
3 基金の活用	88	財源調整的基金等の取崩し

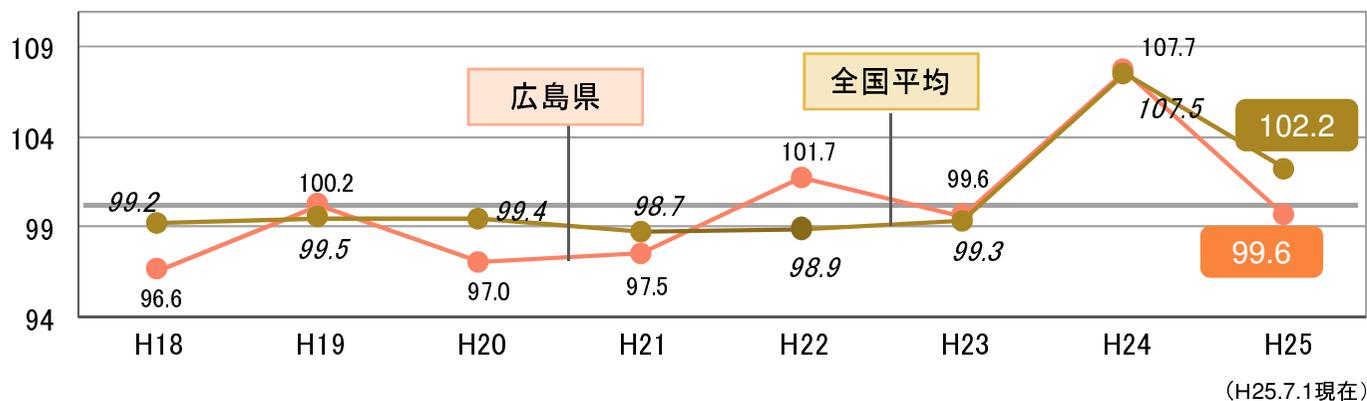
# 職員数の推移と給与水準

## 職員数の推移



※1 職員数は、一般行政部門  
 ※2 比率は、H11を100とした場合の率。

## ラスパイルズ指数の推移



※1 ラスパイルズ指数は、国家公務員の給料を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で表したものです。

### 全国順位

H18年度	40位
H19年度	22位
H20年度	39位
H21年度	33位
H22年度	9位
H23年度	28位
H24年度	27位
H25年度	35位



# 資金管理体制

- 公金については、安全性及び流動性を確保した上で、効率的な資金管理を行うことが求められることから、外部の金融専門家等が参画する広島県資金管理会議を設置し、適正なリスク管理のもとで、運用収益の拡大や調達コストの削減等に取り組んでいます。

## 資金管理会議の概要

### ■ 設置時期

- 平成19年5月22日

### ■ 協議事項

- 資金管理方針等に関する事
- 資金管理計画の策定に関する事
- 経済情勢、金融動向の分析に関する事
- 金融機関の経営状況の確認に関する事

### ■ 会議の構成

外部委員：4名(学識経験者、公認会計士、金融専門家)

内部委員：5名

事務局：総務局財政課資金グループ

## 主な取組状況

19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資金管理方針等の策定</li> <li>■ 金融機関の監視体制の整備</li> <li>■ 債券運用の開始(2年債・5年債の購入)</li> <li>■ 市場公募債のシ団見直し(証券幹事選定型へ移行)</li> <li>■ 20年債の発行開始</li> </ul>
20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歳計現金の運用期間の長期化</li> <li>■ 10年債の年間平準発行の開始</li> </ul>
21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資金管理業務の一元化</li> <li>■ 県出資法人の資金管理に係るガイドラインの策定</li> <li>■ 5年債の発行開始</li> </ul>
22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 債券運用の長期化(10年債の購入)</li> <li>■ 市場公募債のシ団見直し</li> </ul>
23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県出資法人の資金管理のフォローアップ</li> <li>■ 市場公募債のシ団見直し</li> </ul>
24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 債券運用の長期化(20年債の購入)</li> <li>■ 市場公募債のシ団見直し</li> </ul>
25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市場公募債のシ団見直し</li> </ul>



# 平成26年度 市場公募債発行計画



## 調達の方え方

- 10年債  
流動性向上のため、年間平準化発行
- 5年債・20年債  
起債環境に応じて機動的に発行

## 発行方式

- 10年債・5年債(シンジケート団方式)  
安定的に調達を行うことができるよう、シ団方式により発行
- 20年債(主幹事方式)  
販売力に優れた金融機関を主幹事に選定し、発行

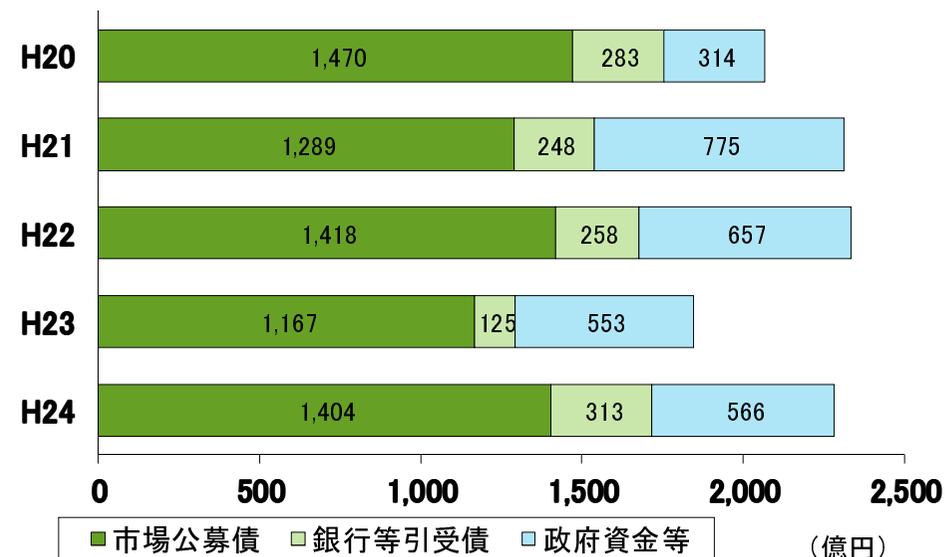
(単位: 億円)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市場公募債(10年・共同)	100		100		100		100		100		100		600
市場公募債(10年・個別)		100		200		100		200		200		100	900
市場公募債(5年)											100		100
市場公募債(20年)						100							100
合計													1,700

## 10年債 引受 シンジケート団

銀行団		証券団	
広島銀行	13.5%	野村證券	8.0%
みずほ銀行	9.5%	大和証券	8.0%
新生銀行	3.0%	SMBC日興証券	8.0%
三菱東京UFJ銀行	1.0%	みずほ証券	8.0%
三井住友銀行	1.0%	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	8.0%
あおぞら銀行	1.0%	東海東京証券	3.0%
三井住友信託銀行	1.0%	岡三証券	2.0%
もみじ銀行	6.5%	しんきん証券	2.0%
広島信用金庫	2.5%	岩井コスモ証券	1.0%
呉信用金庫	1.0%	東洋証券	1.0%
		丸三証券	1.0%
		ゴールドマン・サックス証券	1.0%
		メリルリンチ日本証券	1.0%
		(証券幹事上乘せ分)	8.0%
10行	40.0%	13証券	60.0%

## 県債発行額の推移(普通会計ベース)





# お問い合わせ先



## 広島県総務局財政課 (資金グループ)

TEL : 082-513-2291

FAX : 082-228-3599

E-mail : [souzaisei@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:souzaisei@pref.hiroshima.lg.jp)

URL : <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/> (広島県のホームページ)

トップページ



「分類でさがす」(県政情報, 財政・統計)



「県政運営・財政」(県債・宝くじ)



広島県債のご案内

- 本資料は、広島県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、広島県の財政状況等について説明することを目的とするもので、特定の債券の売出しまたは募集を意図するものではありません。
- 本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料の中で示された将来の見通しまたは予測は、広島県として現時点で妥当と考えられる範囲内にあるものの、確実な実現を約束するものではありません。